

第2部 予算特集

発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



誰もが憧れる都市を目指して 2013年度 予算の概要

問 財政課 ☎724・2149 FAX050・3085・5303

予算は、市民の皆さんに納めていただいた税金などの収入を生かして、町田市がどのように事業を行っていくかを表しているものです。誰もが憧れる都市を目指して、2013年度にどのようなサービスや事業を行うのか、予算の概要をお知らせします。

2013年度予算は、東日本大震災や欧州経済危機などの影響により景気の低迷が長期化し、依然として厳しい財政状況が続く中での予算編成となりましたが、町田市基本計画である「まちだ未来づくりプラン」とその実行計画である「新5ヵ年計画」の2年目として、その進捗状況と今後の見通しを確認し、目標達成に向けた取り組みの着実な推進を目指して編成しました。「まちだ未来づくりプラン」に定めた4つの「まちづくり基本目標」を達成するために、「新5ヵ年計画」に位置付けられた重点事業を中心に取り組みます。また、「まちだ未来づくりプラン」の推進において先導的な役割を果たす5つの「未来づくりプロジェクト」を重要な取り組みとして推進します。(未来づくりプロジェクトと主な事業の予算額は、2・3面でご紹介します)

4つの「まちづくり基本目標」

I 将来を担う人が育つまちをつくる



II 安心して生活できるまちをつくる



III 賑わいのあるまちをつくる

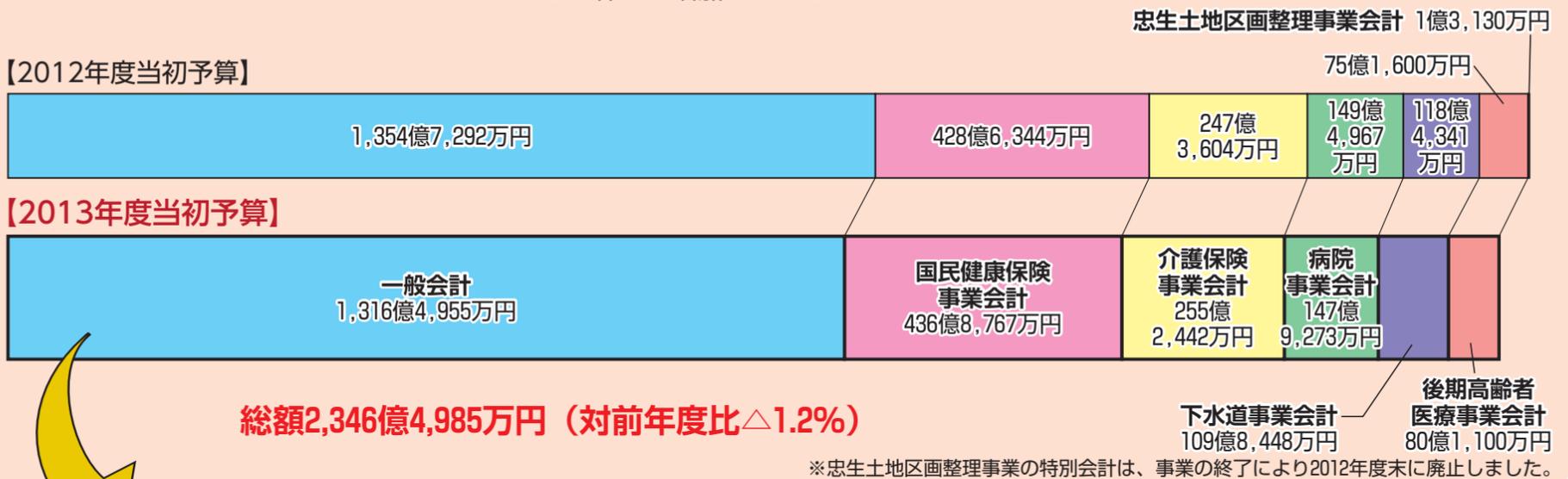


IV 暮らしやすいまちをつくる



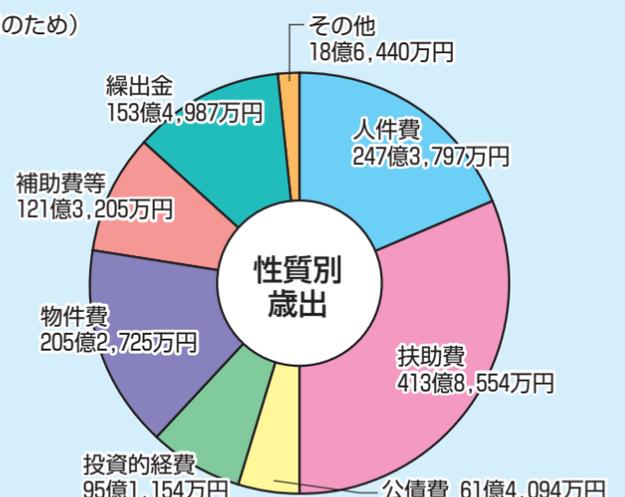
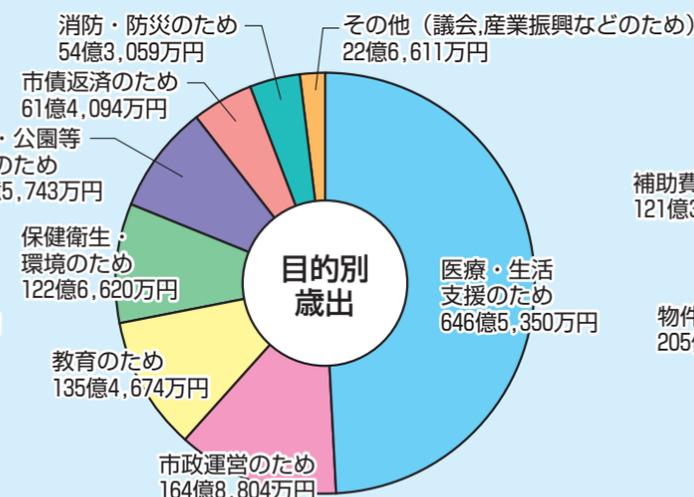
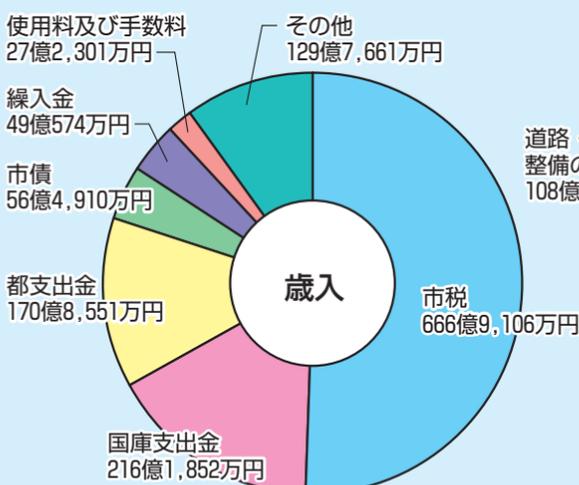
2013年度予算の全体像

市の行政サービスの大部分を経理するお財布（一般会計）のほかに、特定の目的を持った事業の収支を切り分けて経理するお財布（特別会計）が5つあります。特別会計の国民健康保険事業会計と介護保険事業会計の予算額は、保険給付費の伸びに伴い、増加しました。



一般会計の 年間歳入歳出予算

歳出では、障がい者サービス給付費や特別会計への繰出金の増加があったものの、町田市立陸上競技場の整備費が30億5千万円、和光大学ポプリホール鶴川の建設終了に伴い整備費が16億2千万円、それぞれ減少し、全体では2.8%の減少となりました。



※四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

～誰もが憧れる都市を目指して～

2013年度の主な事業と予算額

5つの『未来づくりプロジェクト』

地域社会プロジェクト

①地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト
地域の課題を地域自らが主体的に解決できるような仕組みづくりを推進

町田駅プロジェクト

②町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト
町田駅周辺地域の利便性や快適性の向上による新たな賑わいの創出を推進

団地再生プロジェクト

③団地再生に向けたプロジェクト
団地の魅力の向上による団地を中心とするまちの活性化を推進

みどりプロジェクト

④みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト
みどりを保全するだけでなく活用することで、さらなるみどりの保全へとつなげることを推進

基幹交通プロジェクト

⑤基幹交通機能を強化するプロジェクト
路線バスの定時性や速達性の向上を目指した基幹交通機能の強化を推進

I 将来を担う人が育つまちをつくる

保育環境の整備や教育環境の充実に取り組むとともに、子どもの活動拠点の充実や学びの拠点づくりに取り組みます。

地域子育て相談センター整備事業

2014年4月の地域子育て相談センター開設に向け、公立保育園に執務・相談スペースを整備 **2,896万円**

(仮称) 忠生図書館整備事業

2015年5月の(仮称)忠生図書館(忠生市民センター内)の開館に向けた図書購入 **5,000万円**



地域社会プロジェクト

待機児童解消対策事業

民間保育所や認定こども園の整備支援
山崎保育園の移転新築ほか **12億7,198万円**

乳幼児発達支援施設整備事業

子ども発達センターすみれ教室3階の改修 **3,400万円**

子どもセンター整備事業

(仮称)忠生子どもセンターの建設
町田地区子どもセンターの建設に向けた基本・実施設計の作成 **3億160万円**

小・中学校増改築事業

鶴川第一小学校の改築に向けた基本・実施設計の作成
町田第一中学校の改築に向けた基本計画の策定 **7,530万円**

II 安心して生活できるまちをつくる

地域で住民相互の助け合いの関係を築くための環境づくりや、高齢者が地域で安心して暮らすことができる仕組みづくりに取り組むとともに、減災対策に取り組めます。

市民協働拠点づくり事業

地域の協議組織「地域社会づくり検討会」を設立
協議組織の設立地域に対して補助金を交付 **850万円**

地域高齢者支援事業

高齢者の見守り支援ネットワークの拡大
相談窓口の増設ほか **6,277万円**

高齢者福祉施設整備事業

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備
認知症高齢者グループホームの整備ほか **3億5,351万円**

忠生市民センター建替事業

2015年2月の開館に向け、新たに図書館や乳幼児健診の機能を備えた忠生市民センターとして建て替え **4億3,088万円**

コミュニティセンター建替事業

成瀬コミュニティセンター建替基本・実施設計の作成
玉川学園コミュニティセンター建替基本計画を策定 **3,172万円**



地域社会プロジェクト

重度障がい者通所施設整備事業

医療的ケアを必要とする重度障がい者の通所施設の整備を促進 **2,292万円**

緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業

「緊急輸送道路」沿道の建築物の耐震化を促進 **4億9,382万円**
(2012年度3月補正予算額を含む)

住宅耐震促進事業

木造住宅や分譲マンションの耐震診断等を支援 **1億121万円**
(2012年度3月補正予算額を含む)

雨水管渠整備事業

浸水被害を軽減するため、雨水管を整備 **8億8,410万円**

マンホールトイレシステム整備事業

避難施設にマンホールトイレシステムを整備 **3,100万円**

防災行政無線デジタル化事業

既存の防災行政無線のデジタル化
子局の増設などによる防災行政無線の再構築 **3億8,422万円**

※複数年度にわたる事業についても、2013年度の予算額のみ掲載しています。

各事業の詳細内容は、冊子「平成25年度(2013年度)予算概要」でお知らせしています。町田市ホームページや市政情報やまびこ、各市立図書館をご覧ください。

Ⅲ

賑わいのあるまちをつくる

創業支援・企業誘致推進事業

起業・創業の支援、企業の誘致・支援

5,659万円

町田駅
プロジェクト

中心市街地整備事業

町田駅周辺の魅力向上に向けた中心市街地の整備を検討

2,903万円

みどりのまちづくり推進事業

薬師池公園にて新たな景観作物の栽培
薬師池公園地域の案内板やサインの整備ほか

2,006万円

みどり
プロジェクト



活気ある商業空間づくりや自然、スポーツに親しめる環境づくりに取り組むとともに、「スポーツ祭東京2013」の開催に向けたイベントの実施など、まちの魅力の向上・発信に取り組みます。

スポーツ祭東京2013開催事業

9月・10月開催

「スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）」を開催

2億4,801万円

町田まるごとゆりーと祭り開催事業

8月・9月開催

「スポーツ祭東京2013」の開催に向けたイベントの実施ほか

1,500万円

シティプロモーション事業

シティプロモーション推進計画を策定

2,018万円

食農創業推進事業

食と農の連携による新産業の創出を促進

240万円

小野路宿里山交流館整備事業

9月開館

観光交流の拠点として小野路宿通りに、小野路宿里山交流館を開館

1億9,030万円

小野路公園整備事業

「スポーツ祭東京2013」軟式野球競技、硬式高校野球西東京大会に向けた整備

1億1,100万円

野津田公園整備事業

多世代が魅力を感じる公園を目指し、第二次野津田公園整備基本計画を策定

1億800万円

Ⅳ

暮らしやすいまちをつくる

交通環境の充実に取り組むとともに、みどりの保全や地球温暖化防止、資源循環型社会の構築など、環境に配慮したまちづくりに取り組みます。

団地再生推進事業

団地とその周辺地域の特性や魅力に応じた、「団地再生」を検討

588万円

団地再生
プロジェクト

公園整備事業

薬師池西公園の園路等を整備、部分開園ほか

6億4,642万円

みどり
プロジェクト

北部丘陵整備事業

地域の営農環境や生活環境、北部丘陵を訪れる、市民の利便性向上に向けた整備

1億439万円

路線バス利用促進事業

バス路線網の再編に向けた検討、路線バスの利用環境を整備

7,135万円

基幹交通
プロジェクト

鉄道延伸検討事業

小田急多摩線、多摩都市モノレールの延伸に向けた検討・調査

1,003万円

循環型施設整備事業

循環型社会の形成に向け、ごみの資源化施設等の整備事業計画を策定

1億813万円

新たな分別排出方法推進事業

新たな分別排出モデル地域を選定し、プラスチックごみを分別収集

2,307万円

都市計画道路線形検討事業

多摩都市モノレール導入路線など、優先的に整備する路線を検討

3,200万円

都市計画道路整備事業

都市計画道路や南町田駅・相原駅の駅前広場を整備

16億786万円

鶴川駅周辺街づくり事業

鶴川駅南側の街づくり、駅前広場の整備を検討

1,006万円



4つの「まちづくり基本目標」に基づく事業のほかに、取り組む主な事業です。

政策研究事業

社会・経済状況の変化に対応し、時代に適した政策や施策を調査研究

1,924万円

胃の健康度チェック（ABC検査）の導入

胃がんなどの疾患予防に向け、ヘリコバクター・ピロリ菌等検査を導入

2,548万円

旧本庁舎跡地整備事業

旧本庁舎跡地に芝生広場を整備

1億7,500万円

中学校不適応生徒支援事業

問題行動を起こす生徒に対する専門対策チーム「まちだJUKU」を設置

839万円

備蓄物資等整備事業

災害時に必要な備蓄資機材・食糧等を整備

1億127万円

図書館ICタグシステム導入事業

図書館の自動貸出機の設置等に向けた準備

6,304万円

医療・生活支援のための予算について

医療・生活支援のための経費は、その性質上、国の制度改革（児童手当、障害者自立支援給付費など）や社会経済状況の影響（生活保護費など）を大きく受けるものです。

少子高齢化の進展により社会保障関連経費の増加が見込まれるため、今後も医療・生活支援のための予算は増加傾向であると予測しています。



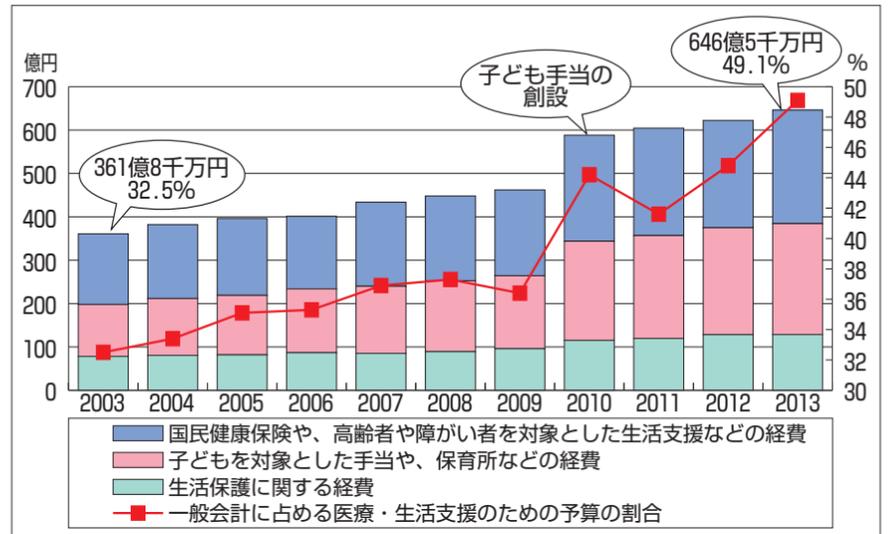
予算特集号1面の目的別歳出予算の円グラフを見ると、医療・生活支援のための予算がほぼ半分を占めています。医療・生活支援のための予算の内訳や推移を教えてください。

2013年度の医療・生活支援のための予算は646億5千万円で、一般会計予算の49.1%を占めています。

そのうち、国民健康保険や、高齢者や障がい者を対象とした生活支援などの経費が261億8千万円、子どもを対象とした手当や、保育所などの経費が255億7千万円、生活保護に関する経費が128億6千万円となっています。



10年前の一般会計に占める医療・生活支援のための決算額の割合は、32.5%でした。2003年度の決算額と2013年度予算額を比較すると、284億7千万円増加（1.8倍）しています。



※2003～2011年度は決算額、2012年度は補正後予算額、2013年度は当初予算額

市民一人あたりの予算のつかいみち

2013年度一般会計予算額を、2013年1月1日現在の町田市の人口（425,762人）で割って算出しました。



市民一人あたりの予算額309,209円のうち、市税でどのくらい負担しているのですか？

市民一人あたりの予算額に対する市税負担額は156,639円で、ほぼ半分を占めています。残りの半分は、国・都支出金（国や東京都から交付される補助金など）90,905円や、市債（借金）13,268円、基金（貯金）の取崩し11,522円などによってまかなわれています。



市民一人あたり
予算額
309,209円

市政の
運営のため
38,726円

子どもや障がい者
高齢者などの
医療・生活支援のため
151,854円

市民の健康や
よりよい
生活環境のため
28,810円

消防・防災
のため
12,755円

市債の
返済のため
14,423円

その他
5,322円

※円の大きさが市民一人あたりの予算額の大きさを表しています。

まちだの台所事情

— 貯金(基金積立金)と借金(市債)はどれくらいあるの? —

基金積立金(貯金)の状況

基金積立金は、家計にたとえると貯金にあたるものです。

「財政調整基金」では、災害復旧など臨時の支出や経済事情の変動などで収入（歳入）が足りない時に取り崩し、逆にお金が余った時には、貯金（積立）して年度間の財源を調整しています。

区分	2012年度末 現在高見込額	2013年度中増減見込額		2013年度末 現在高見込額 (注)
		当初予算 積立見込額	当初予算 取崩見込額	
財政調整基金	64億9,660万円	38万円	37億9,734万円	26億9,963万円
その他特定目的基金	61億3,445万円	9億1,942万円	14億840万円	56億4,547万円
合計	126億3,105万円	9億1,979万円	52億574万円	83億4,511万円

「その他特定目的基金」は、あらかじめ使いみちを決めて積み立てや取り崩しをする基金で、公共施設整備等基金、福祉基金、緑地保全基金、職員退職手当基金、介護保険給付費準備基金、廃棄物減量再資源化等推進整備基金があります。

(注) 今後、2012年度の剰余金などを積み立てていくことで、現在高を確保していきます。

市民一人あたりに換算すると...

※人口：425,762人（2013年1月1日現在）

貯金の残高
(2013年度末見込)

19,600円

ローンの残高
(2013年度末見込)

323,566円



市債の残高が、2013年度末で1,378億円もあるなんて、町田市の借金は多くないですか？

一般会計の市債について、市民一人あたりの残高を多摩26市と比較すると、少ないほうから6番目の金額です。一般会計の市債は、市税をもとに返済していきます。



下水道事業と病院事業を合わせた特別会計の660億円については、公立病院や下水道の整備状況が市によって異なるので、単純比較は難しいです。特別会計の市債は、医療収益や下水道使用料をもとに返済していきます。

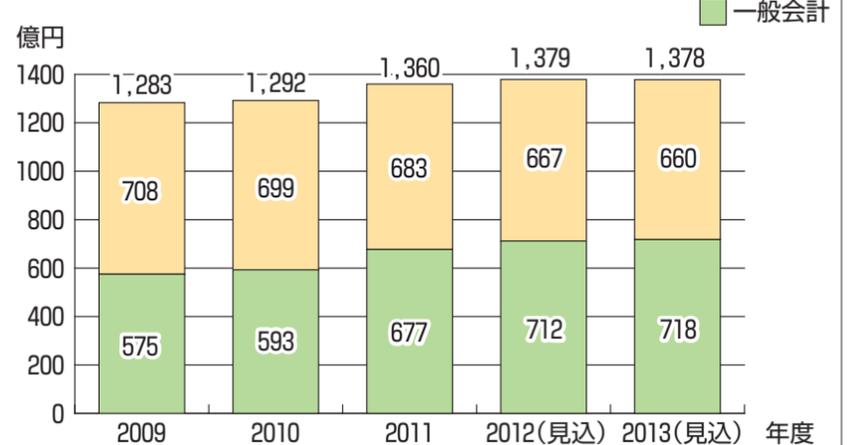
市債(借金)の状況

市債とは、家計にたとえるとローンにあたるものです。

公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を「長期ローン」として借り、将来利用する市民との費用負担を公平にしています。ただし、借金であることに変わりはないので、借り入れには十分気をつけています。

会計区分	2012年度末 現在高見込額	2013年度中増減見込額		2013年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
一般会計	712億4,468万円	56億4,910万円	50億9,286万円	718億92万円
下水道事業会計	519億5,026万円	25億1,360万円	24億5,681万円	520億705万円
病院事業会計	147億3,712万円	-	7億8,302万円	139億5,410万円
合計	1,379億3,206万円	81億6,270万円	83億3,269万円	1,377億6,208万円

市債現在高の推移



※四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。